



大地震を乗り越える! 頼りになる強い下水道へ

みんなが快適な生活を送れるように、下水道を守る人たちがいます

令和6年能登半島地震で、多くの下水道が壊れました。下水道を復旧するための調査と工事のようすです。地震に強い下水道にすることが、これからの課題です。



飛び出したマンホール



調査のようす



調査のようす



復旧工事

早く元の生活に戻れるようがんばっているよ!

安全+第一



地震が発生して、下水道が壊れると水を流せないでトイレやお風呂の水が使えなくなります。1月に石川県で起きた地震では、多くの下水道が壊れましたが、下水道関係の人たちの迅速な復旧作業により人びとは日常生活を取り戻しつつあります。

写真提供: 国土交通省 水管理・国土保全局上下水道企画課



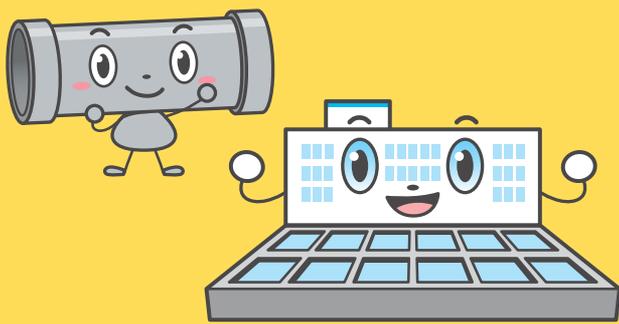
地震が発生した時、下水道が壊れないようにすることが大切です。どのくらい耐震化(地震に強くすること)が進んでいるのかな?

下水道管と下水処理場の耐震化の割合



※グラフは2023年3月末の状況 出典: 国土交通省

下水道管の耐震化は56%、下水処理場は40%。耐震化を進めて、もっと地震に強い下水道にしないとイケないね!



地震に強い下水道管や、下水処理場をつくる対策が進められています。

調べてみよう!
 下水道が使えない時はどうする!?

- ・トイレは?
- ・お風呂は?
- ・料理は?

